

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	病虫害等対策高木剪定事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	07	02
02	73							
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	みどりの課			
施策	1-1		生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理	主管課長	天川 一典			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	樹木（公園緑地等）	意図	周辺住民や利用者が安心・安全に過ごせる場所を提供する。
事業内容	公園緑地等にある樹木が病虫害に侵されたものや倒木の恐れのあるものを剪定等を実施し、身近に安らぐ空間を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	病虫害に侵された樹木や周辺住宅に倒木の恐れのある樹木が年々増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	剪定対象樹木	108	80	73	本	↓↓↓	剪定伐採樹木の本数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 樹木の生長に伴い、安全・安心の確保から、毎年剪定樹木が発生している。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,362,600	9,019,200	8,443,700				
事業費(b)(円)		5,907,600	5,254,200	5,011,200				
うち一般財源		5,907,600	5,254,200	5,011,200				
職員給与費(c)(円)		3,455,000	3,765,000	3,432,500				
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	枯れた松等や病虫害に侵された樹木の早期対応が求められたので、自治会等や委託業者と連携を図っていく。	③取組の課題	樹木の成長に伴い、適切な剪定管理が必要であり効率的な予算執行が必要となる。
②今年度(H28)に実施した取組	自治会等や委託業者と連携を図り効率的に伐採剪定を実施した。	④今後の改善計画	自治会等からは枯れた松等や病虫害に侵された樹木の早期対応が求められることから委託業者を活用し適切に対応する。